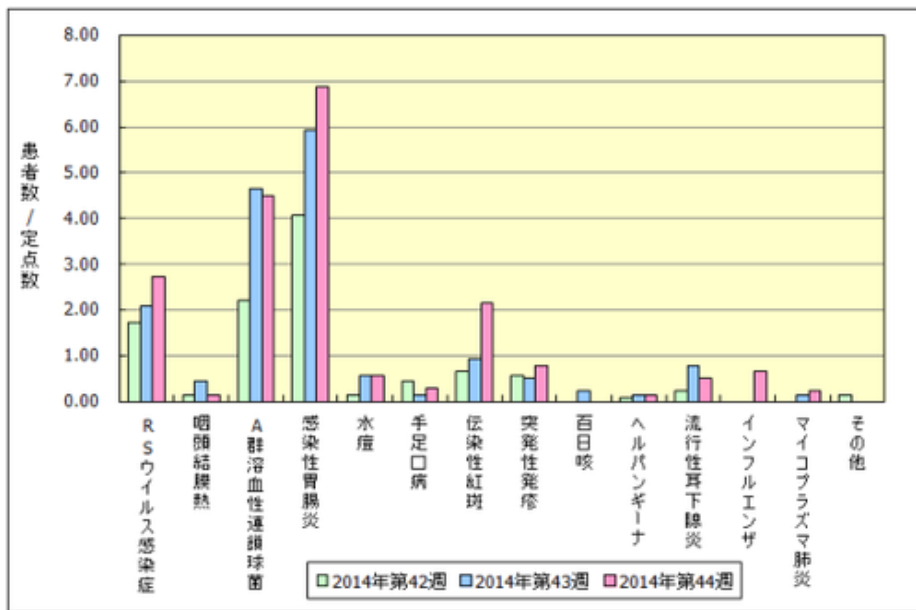


## 第44週(10月27日～11月2日)の集計結果

### コメント

#### 【今週の傾向】

○伝染性紅斑が定点あたり2.1となり、警報開始基準の2.0を超えました。  
 伝染性紅斑は、接触・飛沫感染で感染します。予防には、手洗い、マスク、咳エチケットが有効です。集団生活の場で流行することが多いので注意しましょう。



第44週疾患毎発生状況グラフ

	2014年 第39週	2014年 第40週	2014年 第41週	2014年 第42週	2014年 第43週	2014年 第44週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	23↑	20↓	23↑	24↑	29↑	38↑	22	5	2	9
咽頭結膜熱	4↓	8↑	3↓	2↓	6↑	2↓	0	0	1	1
A群溶血性連鎖球菌	36↑	53↑	40↓	31↓	65↑	63↓	21	24	11	7
感染性胃腸炎	60↓	75↑	78↑	57↓	83↑	96↑	45	16	24	11
水痘	7↓	7→	10↑	2↓	8↑	8→	4	2	1	1
手足口病	1↓	7↑	1↓	6↑	2↓	4↑	1	0	3	0
伝染性紅斑	13→	11↓	5↓	9↑	13↑	30↑	16	8	3	3
突発性発疹	9↑	7↓	11↑	8↓	7↓	11↑	3	4	3	1
百日咳	2↑	1↓	2↑	0↓	3↑	0↓	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	3↓	3→	2↓	1↓	2↑	2→	1	0	1	0
流行性耳下腺炎	4↑	4→	2↓	3↑	11↑	7↓	1	3	0	3
インフルエンザ	3↑	0↓	0→	0→	0→	9↑	0	1	8	0
マイコプラズマ肺炎	1→	2↑	2→	0↓	2↑	3↑	1	0	0	2
その他	2↓	2→	7↑	2↓	0↓	0→	0	0	0	0

第44週疾患毎発生状況表

第44週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他
～5ヶ月	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	12	1	0	4	1	0	1	7	0	0	0	0	0	0
1歳	12	0	0	14	1	1	0	3	0	1	0	0	0	0
2歳	5	0	5	17	2	1	1	1	0	0	0	2	1	0
3歳	0	0	1	11	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0
4歳	3	0	9	8	4	2	4	0	0	1	0	0	1	0
5歳	0	0	6	7	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0
6歳	0	0	12	11	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0
7歳	0	0	10	2	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0
8歳	0	1	12	5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
9歳	0	0	2	2	0	0	2	0	0	0	1	3	0	0
10～14歳	0	0	6	10	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0
10～12歳												2		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
20歳以上	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合計	38	2	63	96	8	4	30	11	0	2	7	9	3	0

第44週年齢別発生状況表

#### 地区ブロックの分け方

- ・ 中央・北部  
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- ・ 西部  
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- ・ 東南部  
由木東事務所、南大沢事務所管内
- ・ みなみ野  
由井事務所